

3月末まで クラウドファンディング実施しています

お宝No.289 NPO法人happiness

2022年の春、happinessは少女のための相談窓口を設け、緊急宿泊支援のシェルター「ハピネスハウス」の運営を始めました。

ハウスは、少女たちが困った時、心がつらい時に、滞在や宿泊ができる施設です。ゆっくりと心と身体を休めることができる安全な場所であり、スタッフは少女たちに寄り添い、必要に応じて専門職と連携しながら自立に向けた支援を考えていきます。

こうした少女たちの居場所は、まだ全国的にもほとんどないのが現状です。開設から1年を経過したいま、そのニーズを実感しています。これからもハウスを必要とする少女たちに支援を届けるためにも、[ハウス運営資金支援のための寄付](#)へのご協力をお願いいたします。

困難な状況に置かれている少女たちへのご支援とご理解をどうぞよろしくお願いいたします。



お宝No.284 車いす点検ボランティア スイマルク



ウクライナへ車いすを送るプロジェクト～ウクライナへ整備した車いすを100台提供します～

個人や団体・施設に、使用していない車いすの提供を募り、私達ボランティアグループの強みである車いす点検整備の技術を活かして車いすを整備し、在日ウクライナ大使館の協力のもと、ウクライナで車いすを必要としている人達に送ります。

また、このプロジェクトを通じ、私達の活動をより広く知っていただき、地域で活用していただける機会や新たな仲間づくりの機会とすると共に、車いすを必要とする世界中の人々が平穏な日常生活が送れる平和な社会を実現します。

お宝No.382 一般社団法人京都わかさねっと

上京区のシェアリビング「わかさリビング」の運営資金を募っています

これまでの活動を通して、多くの人の共感をいただけなければ居場所を維持できないし、応援してくださる人が多いほど、少女たちの笑顔が増えていくと思うに至りました。コロナ禍が長引き、住むところを追いつかれた、あるいは何日も食事を摂っていないという少女が増えています。まずは来て貰うための交通費、ごはん代。そのあとに就労や自立へ向けた支援が必要です。

寄付できますという方、気持ちで応援しますという方、シェアしますよという方、遊びに行きたいという方、どんなカタチでも構いませんので、京都わかさねっとに少しでも関わってくれたら嬉しいです！

もちろん私たち自身も組織改革を進め、少女たちが安心できる居場所づくりを目指しています。

クラウドファンディング達成しました!!

お宝No.248 西喜商店 近藤貴馬

2022年12月達成済：「食品ロスの削減に向けた取り組み【軒下青果店】を同じ想いを持つ仲間と共に育みたい！」

◆軒下青果店とは？…市民の居住エリアに構える、青果店とは異業種の店先に青果販売ブースを設置し、そこで西喜商店の野菜や果物を販売してもらうという仕組みです。

私（日高）も「食べて応援！」し、先日西喜商店さんからリターンの野菜詰め合わせが届き、初めて知る野菜「ペリーラ」（大葉のベビーリーフ）がかわいくて早速使ってみたかったのでピザを焼いてたくさんのおいしく頂きました。普段自分では買わなかった（知らなかった）“八百屋さんセレクト”野菜を楽しむことができました。



企業助成を活用した事業がスタートします

「ファイザープログラム 心とからだのヘルスケアに関する市民活動・市民研究支援」助成に、まちづくり・お宝バンク取組提案者2団体が採択されています。

お宝No.387 「やさしい日本語」を広める会

これまで続けてきた単独事業以外にも、新たな連携先との事業にも挑戦したいということで、京大SPH薬局グループとの連携をコーディネートしました。助成選考では、「市民や関係団体との連携、協働したものとなっていること」にも着目されるとのことで、今回始まる事業では、京大SPH薬局グループ岡田先生、奈良県立医科大鈴木先生の協力を得て、「やさしい日本語を使った薬局のコミュニケーション力向上のための教材作成」に取り組みます。薬局の窓口での言語の壁やコミュニケーションの実態把握、さらには、窓口業務にあたる人に対して、やさしい日本語の習得を目的としたビデオ教材の作成し、外国人居住者と薬局・薬剤師との良好な関係を築くためのコミュニケーション強化をめざします。

【メディアでも活動を紹介されました】

◆プロジェクト協力者の鈴木先生の活動と共に、京都新聞（2023年2月8日朝刊）、「[薬局での外国人対応改善の動き](#)」で紹介されました。

◆[京都三条ラジオカフェ「KYOTO HAPPY NPO！」](#)

活動についての想いやエピソードを紹介しています。ポッドキャストで配信がお聞きいただけます。

◆[上京ふれあいネット「カミング」](#)

同志社大学政策学部の学生さんたちがレポーターとなり、記事を書いてくださいました。

お宝No.19 認定特定非営利活動法人FaSoLabo京都

2021年度からの活動評価され、継続助成が決定しました。

「食物アレルギーの子どもが必要としている子ども視点の自立支援の調査研究」

まちづくり活動の役立つ制度や事業について



まちづくり活動をされている方から、たまに「京都市の制度や助成金が見られる一覧があれば便利なのに」といったご意見をいただくことがあります。そのようなときにご紹介するのがこちら↓

京都市「市政参加とまちづくり」ポータルサイトでは、所管局・区等のまちづくり活動に役立つ制度・事業の検索ができます。

サイトは[こちら](#)

随時受付のものから、申請期間限定のものまで様々ですが、いちどチェックしてみてもいいかもしれません。

まちづくり系アワードに応募してみませんか

お宝No.421 バリアフリーツーリズム京都

まちづくり・お宝バンク取組提案者さんも多数受賞されている「[京の公共人材大賞](#)」の最終プレゼン大会が6月に南丹市に於いて開催されます。

まちづくり・お宝バンクから「バリアフリーツーリズム京都」代表の中村さんがエントリーされました。旅先や外出先での介助が必要な高齢者や障がいのある当事者が安全に快適に過ごすだけでなく、同行する家族や仲間も負担を減らして一緒に楽しむことができる支援までもカバーしている活動です。要望がありましたらコーディネーターも推薦文を書いて微力ながら応援しておりますので、挑戦する際にはお問い合わせください。

その他にも、「京都はぐくみ憲章 実践推進者表彰」募集（来年度発表未定）など、様々なアワード情報は、京都市市民活動総合センターのサイト「[市民活動情報共有ポータルサイト](#)」からもチェックできます。

[市民活動情報共有ポータルサイト](#)